

吉祥院図書館から

『蜜柑』

芥川龍之介 作, げみ 絵
出版: 立東舎

憂鬱な気分で電車の発車を待つ私は
13. 4歳の田舎の娘が乗り込んで
きても気分は悪くなるばかり。

でも、娘は意外な行動に出て...。
絵も綺麗で、あたたかい気持ちになる1冊。



西京図書館から

『きみの友だち』

重松清著
出版: 新潮社

嬉しいことや、つらいことを共有した他人。
離れてしまったとしても、その出会いを
大切に思えるのなら、きっとそれは友だち。

切なくて優しい絆の物語に、
ころがあたたかくなる一冊です。



右京中央図書館から

『それからスープレのことばかり 考えて暮らした』

吉田篤弘著

出版: 暮しの手帖社

路面電車がのんびり走る町に越してきた
オーリイ君。不器用だけれどどこか温かい
町の人々と日々を大切に紡いでいく。
読み終えた後には美味しいサンドイッチと
温かいスープが飲みたくなります。



近隣5館 コラボ企画

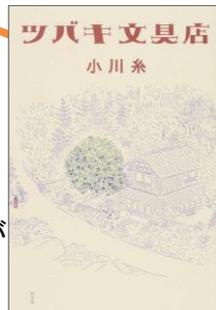
あたたかくなる本

洛西図書館から

『ツバキ文具店』

小川糸 著
出版: 幻冬舎

鎌倉の小さな文具店で代書屋を営む鳩子。
彼女のもとには今日も風変わりな代書の依頼が
舞い込みます。紙面から手書きの文字の温かさが
伝わり、読み終えると、大切な人に手紙を
書きたくなります。



久世ふれあいセンター 図書館から

『私たちの負けられない想い。新・吹部ノート』

オザワ部長 著
出版: ベストセラーズ

全日本吹奏楽コンクールでの金賞受賞を
目指す高校生たちが綴った「ノート」を
手がかりに、その青春を追いかけた一冊。
「吹部」の人もそうでない人も、込められた情熱に
胸があたたかくなります。



2020.12 発行
京都市右京中央図書館 <https://www2.kyotocitylib.jp>
〒616-8104 京都市右京区太秦下刑部町12番地
☎ 075 (871) 5336
休館日: 火曜日 年末年始 (12月29日~1月5日)
開館時間: 平日...午前9時30分~午後8時30分
(当面の間は午後7時まで)
土日祝...午前9時30分~午後5時

冬休みインフォ

ティーンズコーナー情報紙
年4回発行の季刊紙です。

2020冬 vol.19

Kyoto Central Library UC
京都市右京中央図書館 Lib

〈NEWあらいぶ！
(新着)〉などから、
本の主人公を紹介し
ます。

その名は、 主人公

『空想クラブ』
逸木 裕(著/文)
出版:KADOKAWA



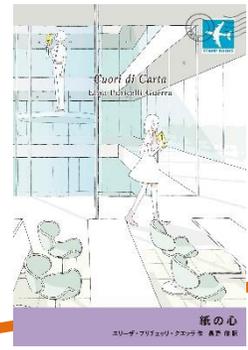
“空想好きな
駿”



『光合成理論』
奈瀬 セナ(著/文), 456(イラスト)
出版:KADOKAWA

どこか無気力で将来
も投げやりだった
”ヨーク”

『紙の心』
エリーザ・プリチェッリ・グエツラ(著/文),
長野 徹(翻訳) 出版:岩波書店



本には生まれた
手紙を見つけた
”少年”

今回は、さむ〜い冬にこそ沁みる、
あたたかな絆を感じられる本を中心に
集めてみました。友達との絆、家族と
の絆、動物との絆…。さまざまな絆を
感じてみてください。(M)



頑固な鍛冶職人
六郎の前に現れた
のは十二歳の少年、
浩太。浩太からの
予想外の申し出に、
六郎は…。
世代を越えて繋が
る二人の絆に、胸
が熱くなります。

伊集院 静著
出版:あすなる書房



絆

- その他にも…etc
- ・『夜のピクニック』恩田陸 著(新潮社)
 - ・『博士の愛した数式』小川 洋子著(新潮社)
 - ・『賢者の贈りもの』o・ヘンリー著(新潮社)
 - ・『幸福な食卓』瀬尾まいこ著(講談社)
 - ・『コンビニたそがれ堂』村山早紀著(ポプラ社)
 - ・『風が強く吹いている』三浦しをん著(新潮社)

狸兄弟の三男で
ある矢三郎を
筆頭に、人と狸
と天狗が京都の
町で大暴れ！
家族、師弟、そし
て種族を超えた
絆がたくさん
描かれています。

森見登美彦著
出版:幻冬舎

